

しらおいを学ぶ マメ知識講座

ポロト湖畔^{こぼん}に整備される博物館の名称も『国立アイヌ民族博物館』と決まり、いよいよ2020年に向けた動きが本格化していきます。教育委員会ではこれを機会に、改めて白老町の歴史・文化の魅力に触れてもらうため、郷土史を中心とした定期講座を開講します。

講座は年8回。座学型と散策型を4回ずつ設けることで、白老の色々な姿に触れてもらうことが目的です。郷土を学ぶばかりでなく、参加される方々お互いに交流を深めていただければ幸いです。興味のある分野だけのご参加も大歓迎。お誘いあわせてご来場ください。

◆6月の講座のご案内◆

第1回座学講座

「古老が語る文化伝承のこれまでとこれから①」

日時：6月18日（土） 10時～11時30分

会場：一般財団法人アイヌ民族博物館

集合：白老コミセンに9時30分集合

（会場まではバスで移動します）

申込：要予約（30名まで）

料金：不要です



△遺跡と伝承の宝庫である
アヨロの丘陵も歩きます▽

第1回散策講座

「里山を歩きながら学ぶ、白老の自然」

日時：6月25日（土） 10時～13時

会場：萩の里自然公園

集合：白老コミセンに9時30分集合

（会場まではバスで移動します）

申込：要予約（30名まで）。6月17日締め切り。

料金：保険料200円をご用意ください

その他：散策終了後に、コミセンでアイヌ文化の伝統料理を試食します。

*申し込みは仙台藩白老元陣屋資料館（85-2666）まで

*講座の情報は広報「げんき」や資料館HPからもご覧いただけます。

仙台藩陣屋 かわら版

第126号

（平成28年6月号）

発行：仙台藩白老元陣屋資料館

〒059-0912 白老町陣屋町 681-4

TEL&FAX 0144-85-2666

史跡指定50周年記念の展示会

仙台藩の陣屋跡が国指定の史跡となつて50年を迎えました。今年は記念展示会として藩土の故郷を、絵葉書をとおしてご覧いただきます。7月中旬から8月中旬の期間、古都仙台の懐かしの風景などをお楽しみください。詳しくは来月のかかわら版でご紹介しますので、お見逃しなく。



武者人形展閉幕しました！



4月に始まった「武者人形展」が、5月8日(日)をもって閉幕しました。今年初お披露目の、兜飾りと三段飾りはご覧いただけましたか？

5月7日(土)には、恒例行事の「子どもの日企画」を実施しました。あいにくの雨模様にも関わらず、50人以上の方が来館。特に今年は毎月1回ふるさと学習をしている、「ゲンキッズ探偵団」の皆さんも合流してくれました。資料館では会場を幾つかに分け、友の会の方にもお手伝いいただきました。

今年は、好評をいただいている鎧兜の試着体験や抹茶の点出しなどの催しに加え、新たに折り紙袴作り体験を行いました。これは、袴の形に切った紙に好きな家紋シールを貼って、オリジナルの袴を作ろうというもので、実際に着ることも出来ます。

参加した子ども達からは、「武士の人達は、こんな重たい鎧を着て戦っていたなんてビックリしたー」や「家紋って、こんなに沢山の種類があるんだー」など資料館に元気で、楽しそうな声が響いていました。楽しく遊んで勉強にもなる、そんな企画になったのではないかと思います。来年も多くの方の参加をお待ちしています。



<上：みんなで仲良く折り紙兜>



<上：親子でかっこよくポーズ>



<上：読み聞かせに耳を傾ける参加者>



<左：せんべい上手に焼けたかな？ 中：かっこいい袴を鋭意創作中 右：美味しいお抹茶をいただきます>



史跡をキレイにお掃除です



4月27日(水)に史跡の枝拾いを実施しました。当日は寒すぎず、暑すぎない良い天気で、スムーズに作業を進めることが出来ました。

今回手伝ってもらったのは史跡の外曲輪という、一番面積が広い場所です。町内から4名のボランティア参加者と、職員含めた計6名で手分けして枝拾いを開始しました。休憩を挟みながら2時間ほどで大きな枝などは拾い終わり、今年の積雪や今年の強風で折れた枝をキレイに片づけることが出来ました。

史跡は面積が非常に広く、職員だけで作業を行うと非常に時間がかかるのですが、ボランティアに来てくれた皆さんのお陰ですいぶん早く終わりました。改めてお礼申し上げます。

「仙台陣屋かわら版126号(平成28年6月号)」

発行日:平成28年5月20日(金)

発行所:仙台藩白老元陣屋資料館 担当者:平野・工藤

<http://www.town.shiraiohokkaido.jp/bunka/jinyal/>

Mail: jinyal@town.shiraio.jp ☎099-290900